



屋外(内)用 ブースター (家庭用)

VU・BC BOOSTER

増幅チャンネル FM・ch.1~62・BS・CS

VUBCB33GN



UHF・BC BOOSTER

増幅チャンネル ch.13~62・BS・CS
FM・VHFミキサー内蔵

UBCB33GN



F型端子

33dB型

◀◀ UHF 自動利得調整 ▶▶

オートブースター

地上デジタル放送の送信出力レベルが上がったときに、利得調整がいらぬ高性能ブースターです。



MASteR of PROduction 生産の覇者

優れた性能と機能

UHF自動利得調整機能付 (特許出願中)

マスプロ独自のUHF自動利得調整回路により、地上デジタル放送移行期で、送信出力レベルが段階的に上がったときでも、ブースターの利得再調整が不要です。

余裕のある高出力

UHFは、アナログ7波+デジタル9波で103dBμ*の高出力レベルが得られますから、伝送波数の多い地域で使用しても、障害のないきれいな画像を受信できます。また、地上デジタル放送移行期のUHF多チャンネル受信にも対応できます。

*デジタル波の信号レベルが、アナログ波より10dB低い場合。

優れたシールド性能 (特許出願中)

増幅部、電源部とも高周波回路を金属ケースでシールドし、入・出力端子にF型コネクタを使用していますから、外来電波による妨害を防ぐことができます。



DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、(社)電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。



各種デジタル放送を、より高画質で見るために、妨害電波の影響を受けにくい、高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している、信頼のマークです。



EU(欧州連合)での電気・電子機器における特定有害物質の使用制限に適合した機器に、マスプロ電工が表示しているマークです。

2655MHz 対応

取扱説明書

BS・110°CSデジタル放送対応



VUBCB33GN
増幅部：屋外(内)用



VUBCB33GN
電源部(WP6)：屋内用
(屋外では使用しないでください。)

VUBCB33GN

FM・VHF・UHF帯域とBS・CS帯域を増幅します。

UBCB33GN

UHF帯域とBS・CS帯域を増幅します。

FM・VHF帯域は通過します。

異常お知らせ機能 (特許出願中)

増幅部と電源部の間でショートしたり、断線したりした場合、電源部作動表示灯の色でお知らせします。

スマートに設置できる電源部 (特許出願中)

電源部は縦置きで、コンパクトですから、テレビのサイドスペースにも、すっきりと設置できます。

電源保護回路

増幅部と電源部の間でショートしても、電源保護回路によって、電源部を保護します。

FM・VHF作動スイッチ (VUBCB33GN)

FM・VHF作動スイッチによって、FM・VHFの増幅をOFFにできますから、地上デジタル放送だけを受信するときや、地上アナログ放送が終了したときに、消費電力を抑えることができます。



各部の名称と機能

増幅部

FMカットスイッチ

(UBCB33GNにはありません)

- FM電波が強く、受信障害が出る場合、「FMカット」にします。
- 出荷時は「FM増幅」になっています。

FM電波が弱い地域の場合



FM電波が強い地域の場合

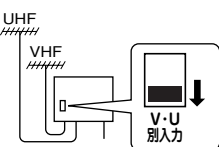


FMカット

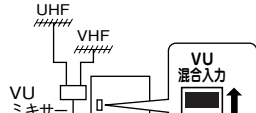
VU入力切換スイッチ

- VHF・UHFの別入力、混合入力を切換えます。
- 出荷時は「V・U別入力」になっています。

V・U別入力の場合



VU混合入力の場合



携帯カットスイッチ

- 携帯電話の基地局が近く、携帯電話の電波によって、受信障害が出る場合、「ON」にします。
- 出荷時は「OFF」になっています。



携帯電話の電波で受信障害を受けている画面

携帯電話の基地局が近くにある地域の場合



携帯電話の基地局が近くにない地域の場合



ご注意

- 利得調整は、調整用ドライバーで操作してください。無理に回すと、こわれることがあります。
- スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎると、こわれることがあります。

フタの開閉について

- フタを開けるときは、フタ固定ビスをゆるめてから、手前に引上げてください。
- フタを閉めたあとは、必ず、手でフタ固定ビスをしっかり締付けてください。

入力レベル調整スイッチ

(UBCB33GNに、FM・VL、VHは) (ありません)

FM・VL (ch.1~3)

VH (ch.4~12)

BS・CS

- 入力レベルが低い場合、「0dB」にします。

- 出荷時は「0dB」になっています。

FM・VHF作動スイッチ

(UBCB33GNにはありません)

- FM・VHFを受信しない場合、「OFF」にします。

- 出荷時は「ON」になっています。

FM・VHFを受信する場合



FM・VHFを受信しない場合



OFF

電源(増幅部作動表示灯)

増幅部の作動時に「緑」に点灯します。

利得(出力)調整

UHF (ch.13~62)

- 利得(出力)を0~0dB連続して調整できます。

- レベルチェッカーなどを使用して、テレビまたはデジタルチューナーの入力レベル範囲を超えないように調整してください。

- 出荷時は「MAX.」になっています。

利得調整

(UBCB33GNに、FM・VL、VHは) (ありません)

FM・VL (ch.1~3)

VH (ch.4~12)

BS・CS

- 利得を0~0dB連続して調整できます。

- レベルチェッカーなどを使用して、定格出力レベルを超えないように調整してください。

- 出荷時は「MIN.」になっています。

UHF自動利得調整機能

- UHFの電波が強い場合、定格出力レベルを超えないように入力レベルを自動調整します。

- 出荷時は「ON」になっています。

UHFの電波が強い地域の場合

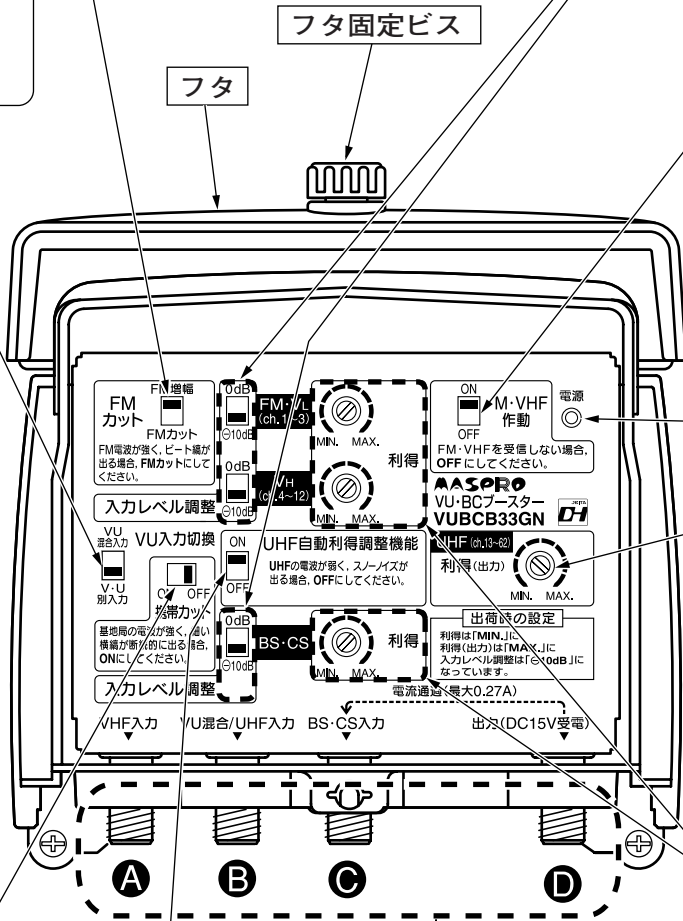


UHFの電波が弱い地域の場合



ご注意

- UHFの電波が弱く、画面にスノーノイズが出る場合、「OFF」にしてください。
- p.6「きれいなテレビが見られないときは」をご覧ください。



A VHF入力端子

- VHFアンテナからのケーブルを接続します。
- VU混合入力の場合は付属の防水キャップ(小)を取付けてください。

B VU混合入力端子またはUHF入力端子

- VU混合入力のケーブルまたはUHFアンテナからのケーブルを接続します。

C BS・CS入力端子

- BS・110°CSアンテナからのケーブルを接続します。

D 出力端子(DC15V受電端子)

- 電源部の入力端子①からのケーブルを接続します。

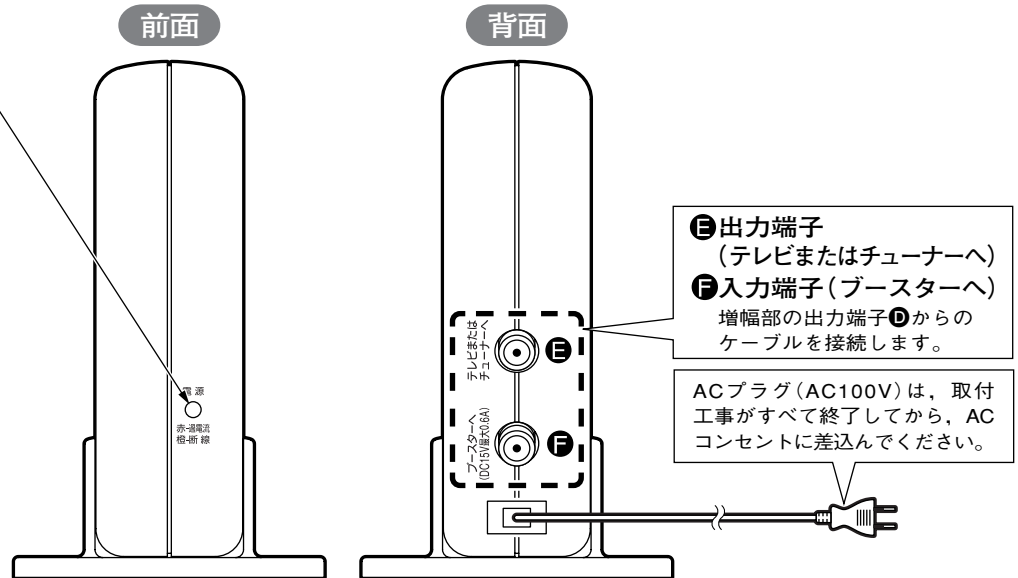
電源部

電源(電源部作動表示灯)

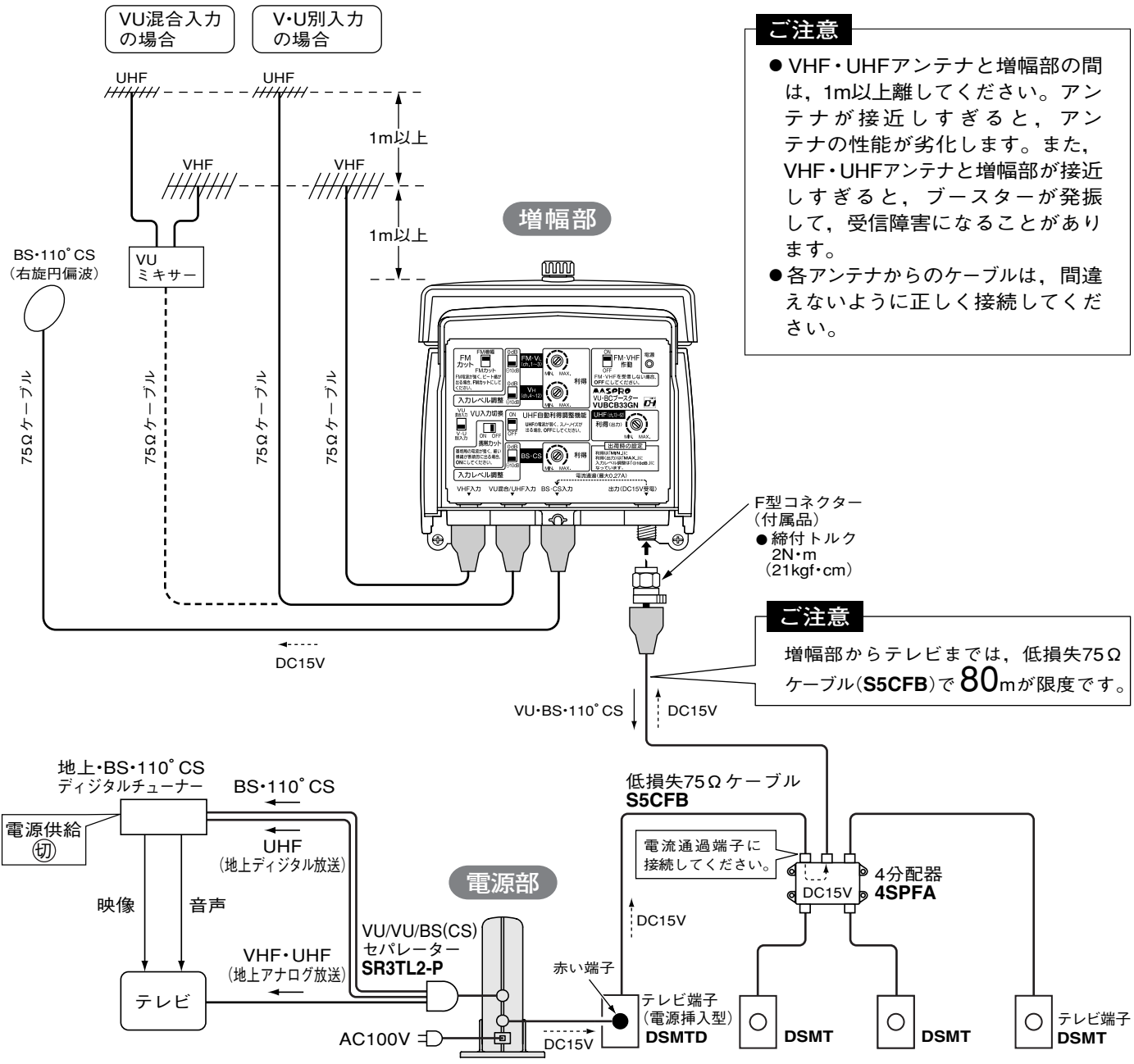
●ACプラグをACコンセントに差込んだときに、電源部の作動状態を表示灯の色でお知らせします。

表示灯	作動状態
緑	正常
赤 (過電流)	異常
橙 (断線)	異常 (テレビは見られません)
無灯 (ショート)	

●p.5「電源部作動表示灯について」をご覧ください。



接続例 (4端子の場合)



取付方法

増幅部

●マスト

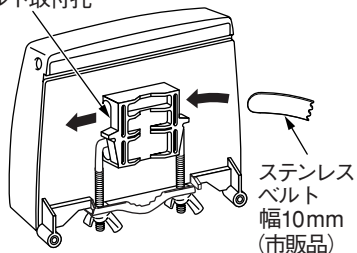
マストに、図のように取付けてください。

適合マスト以外のおときは

市販のステンレスベルトを使用して取付けられます。

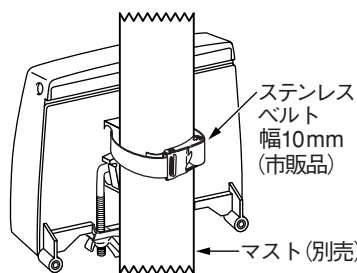
- 市販のステンレスベルト(幅10mm)を増幅部のステンレスベルト取付孔に通します。

ステンレスベルト取付孔



ステンレスベルト幅10mm(市販品)

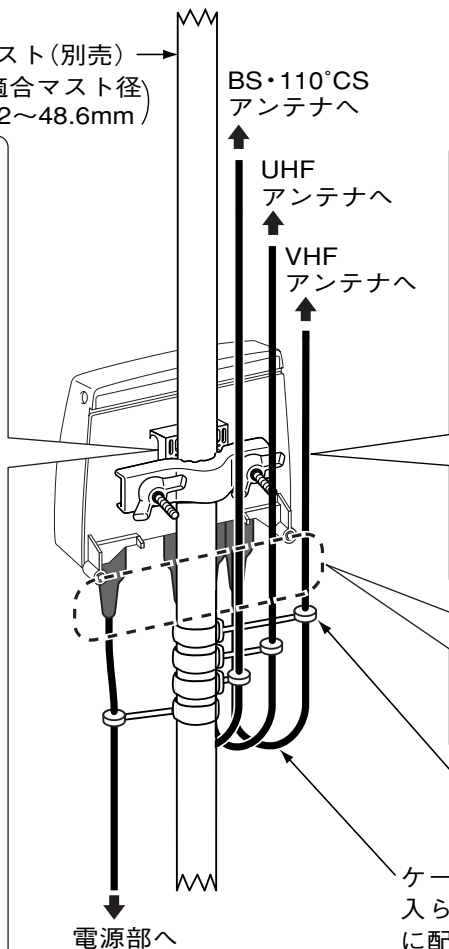
- マストに取付けて、ステンレスベルトをしっかりと締付けます。



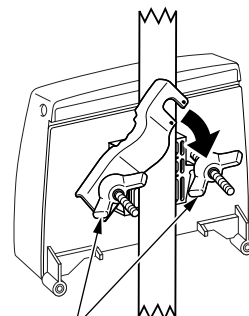
ステンレスベルト幅10mm(市販品)

マスト(別売)

マスト(別売)
(適合マスト径
22~48.6mm)



マストへの取付け



蝶ナット(2個)をしっかりと締付けてください。

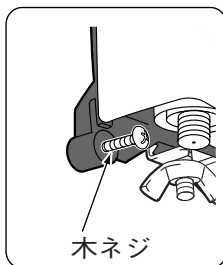
入力と出力のケーブルは、束ねたり、増幅部に巻付けたりしないでください。

ケーブルの固定には、別売の支柱スタンドオフを使用してください。

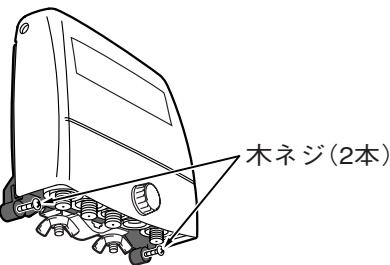
ケーブルをつたって雨水がケースに入らないように、ケーブルをU字形に配線してください。

●板壁面

増幅部についている木ネジ(2本)で、板壁面に固定してください。



木ネジ

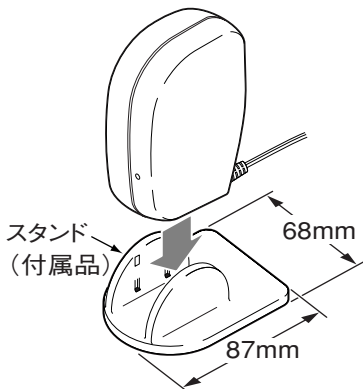


木ネジ(2本)

電源部

●据置き

付属のスタンドを取付けてください。



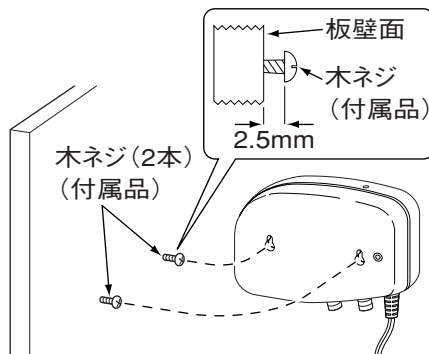
スタンド(付属品)

68mm

87mm

●板壁面

付属の木ネジ(2本)で、板壁面に固定してください。



板壁面

木ネジ(付属品)

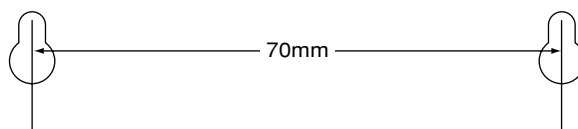
2.5mm

木ネジ(2本)(付属品)

●ご注意

- 電源部をAMラジオの近くに置くと、ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ、ラジオと電源部を離してお使いください。
- 電源部は、温度上昇を防ぐため、風通しのよい場所に設置してください。また、長期間ご使用にならないときは、ACプラグをACコンセントから抜いてください。

電源部の壁面取付寸法(原寸)

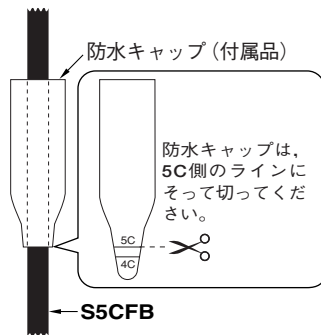


70mm

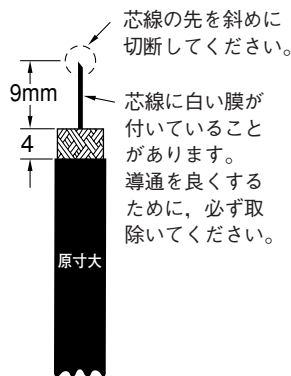
F型コネクターの加工方法

- 接触不良やショートを防ぐため、プラグははいていないに取付けてください。
- BS・CS用低損失75ΩケーブルS5CFBをお使いください。

① ケーブルを、付属の防水キャップに通してください。

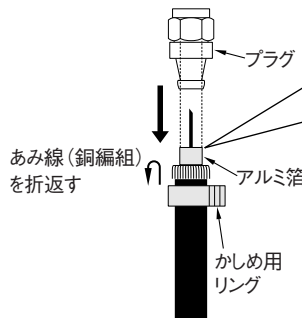


② ケーブルの加工



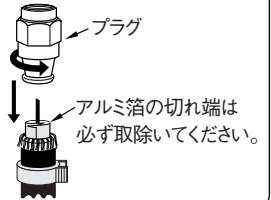
③ プラグの取付け

1. かしめ用リングにケーブルを通してください。
2. あみ線(銅編組)を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。



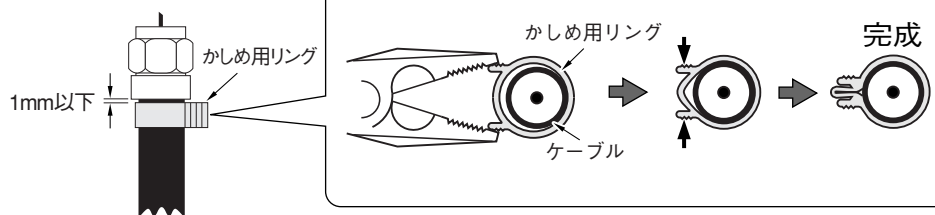
アルミ箔がはがれる場合

プラグの内側にアルミ箔が入るようにアルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら、はいていないに押込んでください。



④ かしめ用リングをペンチで圧着

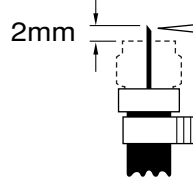
プラグが抜けないようにプラグの根元で、しっかりと圧着してください。



芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線が長すぎると、コネクタが破損して機器が故障します。

完成図



芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。

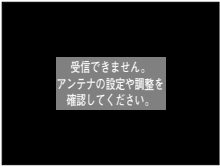
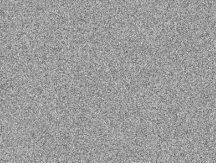
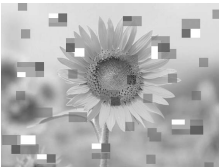
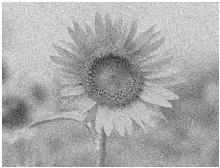
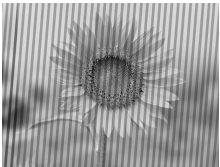





電源部作動表示灯について

- ACプラグをACコンセントに差込んだときに、電源部が正常に作動しているか、電源部作動表示灯の色で確認できます。
- 電源部作動表示灯の色が「緑」以外のはきは、ACプラグをACコンセントから抜いて、原因を取除いてください。

電源部作動表示灯	原因	処置
緑 (正常)	—	—
赤 (過電流)	出力電流が規格値(0.6A)を超えている。	増幅部、BS・110°CSアンテナ以外に電源が供給される機器が接続されて、過電流になっていないか確認してください。
橙 (断線)	電源が供給されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ●F型コネクターの芯線が短くないか確認してください。 ●増幅部と電源部の間でケーブルが断線していないか確認してください。
無灯 (ショート)	電源が供給されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ●F型コネクターの芯線にあみ線(銅編組)やアルミ箔が触れていないか確認してください。 ●増幅部と電源部の間でケーブルがショートしていないか確認してください。

きれいなテレビが見られないときは

症状	原因	処置
<p>画像が出ない</p>  <p>UHF・BS・110°CS(デジタル放送)</p>  <p>VHF・UHF・BS(アナログ放送)</p> <p>UHF・BS・110°CS(デジタル放送)で画面に表示されるメッセージは、一例です。</p>	<p>ケーブル・コネクタの取付け・接続方法が間違っている。</p> <p>VU入力切換スイッチが正しく操作されていない。(VHF・UHFのとき)</p> <p>電源が供給されていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルが、入・出力端子に正しく接続してあることを確認してください。 ●VU入力切換スイッチが、正しく操作してあるか確認してください。 ●増幅部・電源部の作動表示灯は「緑」に点灯していますか。 (増幅部の出力端子①または電源部の入力端子②がショートしていると電源保護回路が作動して、作動表示灯が消えます。ACプラグをACコンセントから抜いて、原因を取除き、再度、ACコンセントに差込んでください。) ●増幅部の出力端子①に、DC15Vが供給されているか確認してください。 (出力端子①に接続するケーブルのF型コネクタにテスターを接続して確認できます。) ●F型コネクタの芯線が短かったり、芯線にあみ線(銅編組)やアルミ箔が触れたりしていないか確認してください。 ●各ケーブルが、断線またはショートしていないか確認してください。
<p>画像にモザイク状のノイズが出ている</p>  <p>UHF(地上デジタル放送)</p>	<p>UHFアンテナからの入力レベルが低い。</p> <p>UHFアンテナからの入力レベルが高い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●UHF自動利得調整機能スイッチを「OFF」にしてください。 ●UHFの入力レベルが76dBμを超える場合、UHF入力端子に、別売のアッテネーターATT1.5, 3, 6, 10, 15, 20を接続して入力レベルを76dBμ以下にしてください。 ●テレビまたはデジタルチューナーのUHFの入力レベルが高い場合、UHFの利得(出力)調整ツマミを(左)へゆっくり回してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ご注意</p> <p>UHF(地上アナログ放送)の入力レベルは、必ず実用入力レベルを超えないように設定してください。実用入力レベルを超えて使用すると、UHF(地上デジタル放送)の画面にモザイク状のノイズが出ることがあります。</p> </div>
<p>画像にスノー(ザラザラ)ノイズが出ている</p>  <p>VHF・UHF(地上アナログ放送)</p>	<p>VU入力切換スイッチが正しく操作されていない。</p> <p>VHFまたはUHFアンテナからの入力レベルが低い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●VU入力切換スイッチが、正しく操作してあるか確認してください。 ●VHFに症状が出る場合、FM・VLまたはVHの入力レベル調整スイッチを「0dB」にし、FM・VLまたはVHの利得調整ツマミを(右)へゆっくり回してください。(VUBCB33GN) ●UHFに症状が出る場合、UHF自動利得調整機能スイッチを「OFF」にしてください。
<p>画像にビート縞が出ている</p>  <p>VHF・UHF(地上アナログ放送)</p> <p>画像にワイパー現象が出ている</p>  <p>VHF・UHF(地上アナログ放送)</p>	<p>FM電波が強い。</p> <p>VHFまたはUHFアンテナからの入力レベルが高い。</p> <p>他の電波と混信している。(ビート縞のとき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ch.1～3の画面に障害が出るときは、FMカットスイッチを「FMカット」へ切換えてください。(VUBCB33GN) ●VHFの入力レベルが高い場合、FM・VLまたはVHの入力レベル調整スイッチを「\ominus10dB」にし、FM・VLまたはVHの利得調整が「MIN.」でないときは、利得調整ツマミを(左)へゆっくり回してください。(VUBCB33GN) ●UHFの入力レベルが76dBμを超える場合、UHF入力端子に、別売のアッテネーターATT1.5, 3, 6, 10, 15, 20を接続して入力レベルを76dBμ以下にしてください。 ●テレビまたはデジタルチューナーのUHFの入力レベルが高い場合、UHFの利得(出力)調整ツマミを(左)へゆっくり回してください。 ●画質が最も良くなるように、VHFまたはUHFアンテナの方向を調整してください。

症状	原因	処置
画像にモザイク状のノイズが出ている  BS・110°CS(デジタル放送)	BS・110°CSアンテナの方向がずれている。	●BS・110°CSアンテナの方向がずれていないか確認してください。ずれているときは、きれいに映るようにBS・110°CSアンテナの方向を再調整してください。
	近くにレーダー基地または空港がある。	●近くにレーダー基地や空港があるときは、BS・110°CSアンテナをレーダーなどの電波ビームから外れる低い位置か、建物の陰など、妨害の影響を受けない場所に移動してください。
画像にスパークリー(めだか状)ノイズが出ている  BS(アナログ放送)	BS・110°CSアンテナからの入力レベルが低い。	●BS・CSの入力レベル調整スイッチを「0dB」にし、BS・CSの利得調整ツマミを(右)へゆっくり回してください。 ●BS・110°CSアンテナからのケーブルをできるだけ短くしてください。
	BS・110°CSアンテナからの入力レベルが高い。 (モザイク状のノイズのとき)	●BS・CSの入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にし、BS・CSの利得調整が「MIN.」でないときは、利得調整ツマミを(左)へゆっくり回してください。

ブースターは、正しくお使いください

ブースターは、正しく取付けないと、ブースターが発振して、ご自宅やご近所のテレビの映りが悪くなることがあります。

- 入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書にしたがって、正しく接続してください。
- 入力と出力のケーブルは、束ねたり、増幅部に巻付いたりしないでください。
- マストに取付ける場合、VHF・UHFアンテナと増幅部との間隔を1m以上離してください。

デジタル放送受信機のレベル表示について

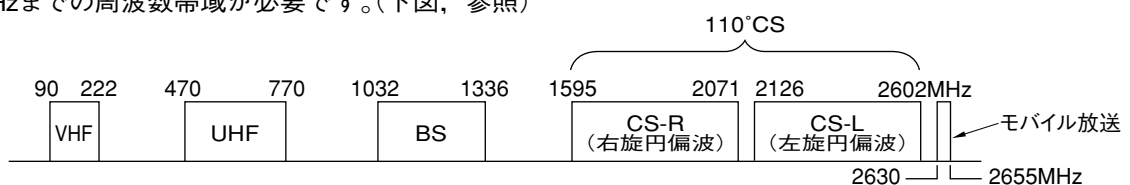
ブースターを設置しても、デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらなかつたり、下がったりすることがありますが、ブースターの不具合ではありません。「アンテナレベル」や「受信レベル」は、アンテナの方向調整を目的とした機能で、受信CN比の換算値を表しており、電波の強さを表すものではありません。

2600MHz広帯域伝送

マスプロ電工では、2600MHz対応の製品をシリーズ化しています。これらの製品を使用すれば、ホーム共同受信システムの機器を変更せずに、110°CS左旋の新しいサービス(予定)やモバイル放送まで受信できます。

2600MHz広帯域伝送とは

- VHF・UHFとBSに加え、110°CSの右旋円偏波と左旋円偏波の信号が同時に伝送できる方式です。
- 110°CSは、BS帯域より高い周波数を使用します。110°CSの右旋・左旋の信号を伝送するためには、2602MHzまでの周波数帯域が必要です。(下図、参照)



注：CS-Lの周波数は変更されることがあります。

規格表

VUBCB33GN

増幅部

MASPRO

電源部 (WP6)

MASPRO

項目	規格			
伝送周波数帯域	76~108MHz (FM・ch.1~3)	170~222MHz (ch.4~12)	470~770MHz (ch.13~62)	1032~2655MHz (BS・CS)
利得	20~25dB	25~31dB	26~35dB	26~35dB
利得偏差(P/V)	3dB以内	3dB以内	5dB以内	6dB以内
入力レベル調整	0, ⊖10dB 切換	0, ⊖10dB 切換	—	0, ⊖10dB 切換
利得調整範囲	0~⊖10dB以上 (連続可変)	0~⊖10dB以上 (連続可変)	—	0~⊖10dB以上 (連続可変)
利得(出力)調整範囲	—		0~⊖10dB以上 (連続可変)	—
雑音指数	3.5dB以下	3dB以下	3dB以下 (6dB以下※1)	5dB以下
実用入力レベル	35.5 (がまん限※2) ~ 80dBμ (100dBμ※3)	35 (がまん限※2) ~ 74dBμ (94dBμ※3)	35 (がまん限※2) ~ 76dBμ [38 (がまん限※2) ~ 86dBμ※1] ※4	45~68dBμ (88dBμ※3)
定格出力レベル	105dBμ (2波)	105dBμ (5波)	111dBμ※4 / 103dBμ※5	103dBμ (24波)
混変調/相互変調	⊖46dB以下 / ⊖53dB以下		⊖46dB以下 / ⊖68dB以下	— / ⊖55dB以下※6
VSWR	3以下			2.5以下
入・出力インピーダンス	75Ω (F型コネクタ)			
電源	DC15V 0.21A (FM・VHF作動スイッチ「OFF」のとき : 0.16A) (BS・110°CSアンテナ給電時 : 0.48A)			
使用温度範囲	⊖20~⊕40℃			
外観寸法/質量(重量)	135(H)×148(W)×60(D)mm / 約460g			
シンボル				

- ※1 UHF自動利得調整機能を「ON」にしたときの値です。
- ※2 実用入力レベルの最小値(がまん限)は、地上アナログ放送受信で実用になる限界です。(スノーノイズを完全に除去できません)
- ※3 利得調整を「MIN.」(利得調整を(左)へいっばいに回した状態)にし、入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にしたときの、最大の実用入力レベルです。
- ※4 アナログ2波の値です。
- ※5 アナログ7波+デジタル9波の値です。(デジタル波の信号レベルが、アナログ波より10dB低い場合)
- ※6 2信号3次ひずみの値です。

付属品

F型コネクタ(5Cケーブル用)……………6個
 防水キャップ(大)……………4個
 防水キャップ(小, VHF入力端子用)……………1個
 スタンド(電源部据置設置用)……………1個
 木ネジ(3×15mm, 電源部壁面取付用)…2本

UBCB33GN

増幅部

MASPRO

電源部 (WP6)

MASPRO

項目	規格		
伝送周波数帯域	76~222MHz (FM・ch.1~12)	470~770MHz (ch.13~62)	1032~2655MHz (BS・CS)
利得	—	26~35dB	26~35dB
通過帯域損失	1.5dB以下	—	—
利得偏差(P/V)	—	5dB以内	6dB以内
入力レベル調整	—	—	0, ⊖10dB 切換
利得調整範囲	—	—	0~⊖10dB以上 (連続可変)
利得(出力)調整範囲	—	0~⊖10dB以上 (連続可変)	—
雑音指数	—	3dB以下 (6dB以下※1)	5dB以下
実用入力レベル	—	35 (がまん限※2) ~ 76dBμ [38 (がまん限※2) ~ 86dBμ※1] ※3	45~68dBμ (88dBμ※4)
定格出力レベル	—	111dBμ※3 / 103dBμ※5	103dBμ (24波)
混変調/相互変調	—	⊖46dB以下 / ⊖68dB以下	— / ⊖55dB以下※6
VSWR	3以下		2.5以下
入・出力インピーダンス	75Ω (F型コネクタ)		
電源	DC15V 0.16A (BS・110°CSアンテナ給電時 : 0.43A)		
使用温度範囲	⊖20~⊕40℃		
外観寸法/質量(重量)	135(H)×148(W)×60(D)mm / 約450g		
シンボル			

- ※1 UHF自動利得調整機能を「ON」にしたときの値です。
- ※2 実用入力レベルの最小値(がまん限)は、地上アナログ放送受信で実用になる限界です。(スノーノイズを完全に除去できません)
- ※3 アナログ2波の値です。
- ※4 利得調整を「MIN.」(利得調整を(左)へいっばいに回した状態)にし、入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にしたときの、最大の実用入力レベルです。
- ※5 アナログ7波+デジタル9波の値です。(デジタル波の信号レベルが、アナログ波より10dB低い場合)
- ※6 2信号3次ひずみの値です。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。



本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
 技術相談 TEL名古屋 (052) 805-3366
 当社営業日 9~12時, 13~17時
 インターネットホームページ www.maspro.co.jp
 技術相談以外は、お近くの支店・営業所にお問合わせください。

(支店・営業所)

- 沖繩 (098) 854-2768
- 鹿児島 (099) 812-1200
- 宮崎 (0985) 25-3877
- 熊本 (096) 381-7626
- 長崎 (095) 864-6001
- 福岡(支) (092) 551-1711
- 北九州 (093) 941-4026
- 下関 (0832) 55-1130
- 広島 (082) 230-2351
- 松江 (0852) 21-5341
- 岡山 (086) 252-5800
- 松山 (089) 973-5656
- 高知 (088) 882-0991
- 高松 (087) 865-3666
- 姫路 (079) 234-6669
- 神戸 (078) 231-6111
- 大阪(支) (06) 6635-2222
- 京都 (075) 646-3800
- 津 (059) 234-0261
- 岐阜 (058) 275-0805
- 名古屋(支) (052) 802-2233

項目	規格
1次電圧	AC100V 50・60Hz
消費電力	4.7W (BS・110°CSアンテナ給電時 : 9.5W)
直流出力電圧(電流)	DC15V (最大 0.6A)
入・出力インピーダンス	75Ω (F型コネクタ)
挿入損失	2 dB以下 (76~1336MHz) 2.5dB以下 (1336~2655MHz)
使用温度範囲	0~⊕40℃
外観寸法	130(H)×68(W)×99(D)mm (スタンド含む)
質量(重量)	約260g (スタンド含む)

付属品

F型コネクタ(5Cケーブル用)……………6個
 防水キャップ(大)……………4個
 防水キャップ(小, VHF入力端子用)……………1個
 スタンド(電源部据置設置用)……………1個
 木ネジ(3×15mm, 電源部壁面取付用)…2本

マスプロの規格表に絶対うそはありません。保証します。

特許 第2572981号
 登録意匠 第 859595号

- 豊橋 (0532) 33-1500
- 静岡 (054) 283-2220
- 松本 (0263) 57-4625
- 福井 (0776) 23-8153
- 金沢 (076) 249-5301
- 新潟 (025) 287-3155
- 横浜 (045) 784-1422
- 渋谷(支) (03) 3409-5505
- 青戸 (03) 3695-1811
- 八王子 (042) 637-1699
- 千葉 (043) 232-5335
- さいたま (048) 663-8000
- 前橋 (027) 263-3767
- 水戸 (029) 248-3870
- 宇都宮 (028) 660-5008
- 郡山 (024) 952-0095
- 仙台 (022) 786-5060
- 盛岡 (019) 641-1500
- 秋田 (018) 862-7523
- 青森 (017) 742-4227
- 札幌 (011) 782-0711
- 釧路 (0154) 23-8466
- 旭川 (0166) 25-3111
- 北見 (0157) 36-6606